

地域おこし協力隊 活動新聞

担当 観光支援員 村上 欣喜
(産業創出課)
☎ 35-2155

皆さん、こんにちは！「地域おこし協力隊 活動新聞」では、月に一度、沼田町の地域おこし協力隊員の活動内容などを町民の皆さんにお伝えします！

今回は、ほろしん地域で活躍中の地域おこし協力隊の小山内祐介隊員と秋山遥登隊員の活動を紹介します！



▲そらち自然学校にきたお客様に料理をふるまう小山内隊員

自然体験とおいしい料理で沼田の魅力発信

そらち自然学校に所属する地域おこし協力隊の小山内祐介さんは、令和6年1月の着任から、ほろしんの森を拠点として自然体験活動の企画・運営に取り組んでいます。

小山内さんは国内外の団体を対象としたネイチャー体験や、スマートモデュール宿泊者の受け入れ、焚き火やサウナを楽しめる場づくりを推進。日本トーカーパッケージ㈱と連携した「DANDANの森」の整備では、両エリアを結ぶ全長10メートル超の木橋を手作りで行いました。また、ダッチオーブンで作るスパイスカレーやハワイの伝統料理「カルアピッグ」など、こだわりのアウトドア料理も人気だそうです。

「体験や料理をきっかけに沼田を訪れ、炭鉱の歴史など地域の魅力にも興味を持ってほしい」と小山内さん。任期終了を見据え、特に若い世代への来訪呼び込みや、活動の次世代への引き継ぎを胸に、地域の魅力発信と交流人口拡大へ向け活動しています。

キャンプ場拠点に沼田のファン拡大

ほたるの里オートキャンプ場を拠点に活動する秋山遥登さんは、キャンプ場の運営やイベント企画、地域資源を活かした体験コンテンツづくりに取り組んでいます。

秋山さんは、町内外から多くの利用者が訪れる同キャンプ場で、豊かな自然を体感できる機会を提供。さらに自身の移住経験を活かし、YouTubeチャンネル「きたのもり移住生活」を運営し、リアルな移住生活や仕事、自然に囲まれた暮らしの様子を精力的に発信しています。近年はカメラマンとしても活動し、観光PRやイベント記録、事業者のPRムービー動画制作などを通じて地域の価値を伝えています。

「沼田には豊かな自然や魅力的な人、歴史など多くの宝がある。情報発信やキャンプ場運営を通じ、一人でも多くの人に知ってほしい」と秋山さん。「住んでみたい」「また訪れたい」と思える地域づくりへ、挑戦を続けています。



▲コテージからキャンプ場のお客さんの様子を見ている秋山隊員